

第2回 次世代ものづくり
基盤技術産業展

TECH Biz EXPO



会期 2012年 11/28(水)～11/30(金) 10:00～17:00

会場 ポートメッセなごや (名古屋市国際展示場)
名古屋駅より「あおなみ線」で24分 金城ふ頭駅下車

主催 名古屋国際見本市委員会

構成：名古屋市、愛知県、名古屋商工会議所、日本貿易振興機構(ジェトロ)
名古屋貿易情報センター、(公財)名古屋産業振興公社

講演会 11月30日(金) 10:30～12:30 セミナー会場(3号館展示会場内)

中堅・中小企業を元気にする TPS と IT

(一般社団法人)持続可能なモノづくり・人づくり支援協会(ESD21)

【講演概要】

リーン方式の名で世界に知られた TPS(トヨタ生産方式)の本質を学び、製造業だけでなく、非製造業も「TPS と IT(情報技術)」で、競争力のある元気な会社になって頂くための講演会です。中国+1として注目されるミャンマーの企業へ、TPS の導入・実践を始めて数年経過。より多くの方に 5S や「見える化」など、ものづくりの基本を知ってもらうため、大規模な TPS/リーン方式の講演会を合計 4 回開催。お金のかかる IT 化より、「まずは TPS/リーン方式、その後に IT や設備導入」という TPS の原則は、企業規模の大小や、新興国という地域性と無関係に、製造業を超えた共通概念です。クラウドコンピュータは、IT 化に躊躇する中小中堅企業には朗報です。モバイルとスマホの時代。東アジアの台頭の下で、持続可能な企業づくりに向け、TPS による人材育成と IT の利活用を検討下さい

黒岩 恵 氏 【10:30～11:10】

●TPS/リーン方式による持続可能なモノづくり

～TPS の本質と TPS と IT による中堅・中小企業のものづくり改革～



(一社)持続可能なモノづくり・人づくり支援協会(ESD21)会長、
九州工業大学大学院情報工学府客員教授、名古屋工業大学講師 黒岩 恵 氏

【概要】

生産国から大消費国となる東アジアの台頭は、製造業の構造改革を余儀なくさせる。トヨタ生産方式(TPS)は、世界中でリーン方式と呼ばれ競争優位のビジネスモデルとして知られているが、TPS の本質を知る人は多くはない。TPS は「あるべき姿を求めて改善しつづける人づくり」にあり、人間性尊重が根底にある。ビジネス環境が変わっても経営の主役は人。TPS/リーン方式による人材育成は、持続可能な日本の製造業には必須である。しかし、モノづくりのイノベーションに、TPS と効果的な IT 活用のシナジーは、中小中堅製造業にも大きな課題である。TPS の本質と TPS と IT 利活用による「ものづくり改革」について理解頂きたい。

鈴木明夫 氏【11:10～11:50】

●グローバルものづくりに向けたミャンマー進出のヒント
～変容するミャンマーの最新事情をTPSの基本「現地現物」で見る～



(一社)持続可能なモノづくり・人づくり支援協会(ESD21)顧問・理事
(ミャンマー調査研究会推進委員会) 鈴木 明夫 氏

【概要】

ミャンマーの新政権が2011年3月に誕生して以来、政治環境のみならず市場経済化・対外開放を目指し、経済情勢も激動している。今までのところは日本企業もチャイナプラスワンとして労働集約型産業の生産拠点として注目しているが今後、付加価値のある機械、金属、IT、食品、化学等の製造加工のビジネス投資環境と進出ヒントとそれら産業を支える人材育成支援についても述べる。

高間正俊 氏【11:50～12:30】

●中堅・中小企業が安心・便利に使えるIT活用を目指して
～クラウドコンピューティングの企業活用を目指した支援モデルのご紹介～



(一社)持続可能なモノづくり・人づくり支援協会(ESD21)理事、
(株)名古屋コンサル21 代表取締役 高間 正俊 氏

【概要】

中堅・中小企業において、ITを活用した企業経営が有益であることは論を待たない。しかし、大企業と比べて中堅・中小企業のIT活用には格差が大きいことも事実である。IT技術が進展して使いやすくなってきているが、まだまだ専門家の支援がいる技術である。この解決に向けて昨年度より国の助成を請けながら廉価、安心してIT導入ができる実証研究を行ってきた。この実践的な手法をご紹介して1社でも多くの中堅・中小企業がITを経営に活かし、儲かる経営を目指されることを目標に普及活動を推進している。

【上記講演会のお申込み】

下記URLの記事末尾のお申込み欄にご記入下さい。

<https://www.esd21.jp/news/2012/11/11.html>

以上